

# SNS 情報 真偽見極める

⑬ 若者の消費者トラブル防ぐには

目指せ！  
**お金の達人**



富山県金融広報委員会  
金融広報アドバイザー  
**漆間 明子**

コロナ禍でオンライン会議や授業など社会のデジタル化が急速に進展しています。10代20代の若者は一見、柔軟に対応しているように感じますが、社会生活の知識や経験、経済的余裕のなさから思わぬ消費者トラブルに遭う恐れがあることも忘れてはいけません。

**Q** 若者のインターネット利用状況は？

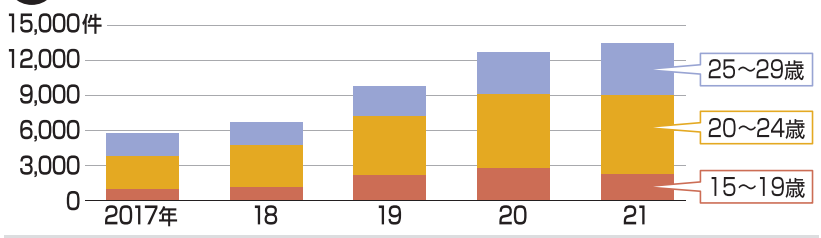
**A** 総務省の2021年「通信利用動向調査」によると、13〜19歳の85・6%、20〜29歳の93・5%がスマートフォンを保有しており、インターネットの利用者は共に98%を超えています。利用目的としてはSNS（交流サイト）が最も多く、13〜19歳では90・7%、20〜29歳では93・2%となっています。

**Q** 若者の消費者トラブルの傾向は？

消費者庁の21年度「消費者意識基本調査」によると、一日のSNS利用時間は、15〜19歳の44・6%、20〜29歳の39・1%が「3時間以上」と回答しています。情報収集のほか、他者とのコミュニケーションのために長時間利用する傾向があります。

**A** SNSに関連する消費者トラブルの相談件数が年々

若者のSNS関連の消費生活相談件数の推移(図1)



若者のSNS関連の消費生活相談の商品・サービス別上位(図2)

年齢	商品・サービス	件数
15〜19歳	1 脱毛剤	203
	2 他の娯楽など情報配信サービス	164
	3 他の健康食品	154
	4 出会い系サイト・アプリ	114
	4 他の内職・副業	114
	6 商品一般	51
	7 教養・娯楽サービスその他	39
	8 役務その他サービス	38
	9 コンサート	33
	10 化粧品その他	31
総件数		1639
20〜24歳	1 他の内職・副業	1264
	2 出会い系サイト・アプリ	419
	3 他の娯楽など情報配信サービス	298
	4 役務その他サービス	233
	5 金融コンサルティング	197
	6 ビジネス教室	141
	7 教養・娯楽サービスその他	134
	8 他の健康食品	122
	9 商品一般	105
	10 外国為替証拠金取引	78
総件数		5139
25〜29歳	1 他の内職・副業	565
	2 出会い系サイト・アプリ	273
	3 他の娯楽など情報配信サービス	157
	4 役務その他サービス	144
	5 金融コンサルティング	122
	6 他の健康食品	110
	7 外国為替証拠金取引	92
	7 ビジネス教室	92
	9 ファンド型投資商品(全般)	79
	10 商品一般	77
総件数		3358

※図1、2とも2022年版消費者白書を基に作成

増加しています(図1)。例えば、SNS上で知り合った人物から副業や投資などのもうけ話を持ちかけられるケースです。「副業で稼ごうか新たに高額なサポート料が必要だった」「マッチングアプリで知り合った異性から誘われ借金をして暗号資産に投資したが、出金できず返金もされない」など、トラブルが後を絶ちません。

**Q** 何に気を付ければいいの？

**A** SNSを長時間利用していると、当然多くの人や口コミ、広告と接することになります。SNS上で知り合った人物は本当に信用できるのか、口コミや広告の内容は確かなものか、真偽

を見極めるのは難しいことです。しかし消費生活において選択は必須です。そこで、自分で幾つかの基準を設けてみてはどうでしょうか。例えば「報酬や成功、効能を強調する体験談ばかり」「ブランド品なのに安すぎる」「購入条件が分かりにくい」「相手はこの誰か必要な情報が書かれていない」などです。こんな相手との契約はやめるべきですね。

インターネットで自分が好む情報ばかり検索していると、それ以外の情報はどんどん遠ざかっていきます。皆さん、自分の財産は自分で守らなければなりません。さまざまな情報を有効に活用するために「情報リテラシー」を養っていきましょう。

(消費生活専門相談員)